

平成23年度
仙北市一般会計・特別会計・
企業会計の全予算案を
可決（一部賛成多数）成立する

市の予算総額	354億2,202万円
一般会計	178億7,800万円
特別会計	111億 607万円
企業会計	64億3,795万円

本会議の主要な要点

- トラブルつづきの木質バイオマス事業、市長覚悟の予算提出
- 所得を増やす総合産業研究所、所長交代で実績を挙げるか
- 国民健康保険特別会計、事業安定のため1億円を一般会計から投入で大丈夫か

教育民生常任委員会では否決、本会議では反対・賛成討論続出

採決の結果 賛成13 反対6で可決

賛成会派 仁政クラブ、翠巒会、民政会議（退席有）

反対会派 新星会、日本共産党仙北市議団

平成23年度、市長の 主な4つの施政方針

◎第1に、仙北市の人口は2万9,567人で5年前より2,301人減少、さらに少子化、高齢化も進行しているため、

市民自らが身近な課題解決に市と協働して取り組むため『仙北市市民分権条例の制定』を進めます。

また各地域運営体の活動を支援します。

◎第2に、健康で安心な生活を営むにあたり、医師や看護師不足による医療環境の不安を解消するため自治体病院事業に識見の高い病院事業管理者を選任し、医療局は5人体制を進めます。

また老朽化が著しい市立角館病院を平成26年秋の開院を目標とし進めます。病床の規模は一般病床180床、精神病床48床の計228床、建設費は約75億の予定です。

◎第3に、市民所得の向上です。総合産業研究所の体制強化により付加価値の高い商品開発、高価格で取引できる販路の開発など、所得アップに

直結する役割をします。

観光産業については

「田沢湖・角館」観光連盟の設立により統一ブランドで発進します。70年ぶりに生存が確認されたクニマス里帰りプロジェクトを実施します。

◎第4に、高齢者と子育て支援です。待機児童の解消へのため遊休施設を活用します。（児童館、あき校舎、保健センターなど）保育士が安定した身分で保育できるように、

新たな組織体を立ち上げます。また神代、生保内幼稚園では3才児保育も開始します。

以上の大きな4本柱に力点を置く基本方針であった。

一般会計178億 7,800万円について

歳入の主な内訳

自主財源

○市税 25億725万円

○分担金及び負担金（保育費他）

1億1,730万円

○使用料及び手数料（診療所、ごみ、駐車場、住宅使用料他）

2億6,293万円

○諸収入（給食費、中小企業振興資金預託金他）
7億9,672万円
○その他（財政調政基金取り崩し他）
8億3,724万円

依存財源

○地方交付税 88億円
○地方譲与税（揮発油、重量税他）
2億2,000万円

○地方消費税交付金
2億7,000万円

○国庫支出金（障害者自立支援、児童扶養手当、子供手当、生活保護、道路関係他）
13億7,886万円

○県支出金（国保基盤安定障害者自立支援、後期高齢者、子供手当、生活保護、福祉医療、小規模介護補助金、子育て手当、電源立地、緊急雇用、夢プラン、森林整備、放課後児童手当、県税徴収委託金他）
10億378万円

市債

15億9,140万円

歳出の主な内訳

義務的経費

○人件費
39億7,713万円

○扶助費
19億6,734万円

○公債費
32億9,059万円

投資的経費

○建設事業費
12億6,615万円

その他の経費

○物件費
28億769万円

○維持補修費
4,286万円

○補助費
17億1,573万円

○積立金
1億3,523万円

○投資及び出資金
1億1,276万円

○貸付金（奨学金、振興資金他）
3億7,440万円

○繰出金（国保会計、介護会計、後期高齢者他）
21億5,808万円



市民が安心できる神代国保診療所

職員数に関する状況

一般行政職員	431人	角館病院	270人
教育委員会	75人	田沢湖病院	47人
議会、農業委員会、監査、選挙管理	17人		
公営企業	14人		
計	537人	合計	854人

仙北市の市税状況

■市税（総額）

H19	28億8,021万円
H20	28億 267万円
H21	26億6,208万円
H22	25億8,187万円
H23	25億 725万円

■市民税

	8億9,516万円
	8億5,047万円
	7億9,545万円
	7億2,951万円
	6億9,056万円

人件費は39億円
病院等総人件費は79億円
仙北市の起債残高
平成20年、一般会計
267億円。特別会計を
含む。388億円
平成23年、一般会計
239億円。特別会計を
含む。350億円
税の収納状況
一般税 78・3%
国保税 54・3%
後期高齢者等保険料
平成23年度主な事業
81・4%
○光プロードバンド設備
整備事業。（乳頭、田沢
湖高原、下野野地区。）
1億2,337万円
○小規模介護施設整備費
（ののほな、福寿、とう
か草の3施設へ補助金）
9,000万円
○岩瀬北野線
3,600万円
○クニマス里帰りプロジ
ェクト事業。（フォーラ
ムクニマスPR看板他）
516万円
○地域運営体活動推進事
業費。4,000万円
○社会资本整備交付金事
業費。（道路、橋、都市
計画他）
2億3,227万円

○緊急雇用対策費。
（104名の賃金）
1億5,573万円
○乾燥材利用促進事業費
（仙北市に新築する方に
上限20万円）200万円
○住宅リフォーム事業費
（50万円以上のリフォームに15%限度は30万円、更に下水道に接続すると10万円加算）
2,727万円
○簡易水道拡張事業費。
（田沢湖角館東前郷地区へ）
7,577万円
○鈴木内地区スポーツク
ラブ創設事業費。
120万円
○スクールバス販入事業
費（鈴木内小学校へ）
548万円
○仙北市の第3セクター
（花葉館、クリオン、ア
ロマ）の窓口を企画振興
課に業務の一本化を目指
す。

通った。
その同じ時、教育民生
常任委員会では、国民健
康保険特別会計予算を否
とした。
本会議では、平岡、高
橋両議員の反対討論。
国保財政健全化のため
に一般会計から繰入れし
ても、平成23年度は引き
上げるのではないか。
国保会計は低所得者の
割合が増加することによ
り、収納率低下と高齢化
による医療費の上昇のた
め会計が崩壊に近い状況
にある。抜本的な制度改
革を国、県に訴えるため
にも反対討論した。
一方、佐藤、藤原両議
員の賛成討論。
国保加入者の減少によ
り基準外繰入は運営安定
のため必要だ。
本予算が執行されなけ
れば医療費の全額負担
（窓口で）や田沢、神代
診療所は継続できるの
か。市民の安全、安心、
命を守るためにも必要で
あると賛成討論した。
採決の結果、賛成13名
反対6名、退席、欠席各
1名で可決した。

2月定例会の総括

3月11日、14時46分、
東日本震災により、各
常任委員会の審査は打ち
切り。3月14日委員会審
査最終日は時間を延長し
て木質バイオマス予算を
通すのか。市長、覚悟の
決断により19時委員会は

（田口（喜）記）